

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び備品……定率法によっている。

ソフトウェア ……定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給与引当金……期末退職給与の自己都合要支給額相当額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000			30,000,000
小 計	30,000,000			30,000,000
特定資産				
退職給与積立預金	1,115,000		1,115,000	0
検診車買換積立預金	70,000,000	10,000,000		80,000,000
小 計	71,115,000	10,000,000	1,115,000	80,000,000
合 計	101,115,000	10,000,000	1,115,000	110,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)		
小 計	30,000,000	(30,000,000)		
特定資産				
退職給与積立預金	0		(0)	(0)
検診車買換積立預金	80,000,000		(80,000,000)	
小 計	80,000,000		(80,000,000)	(0)
合 計	110,000,000	(30,000,000)	(80,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	116,903,350	110,125,507	6,777,843
備品	13,238,000	11,640,765	1,597,235
合 計	130,141,350	121,766,272	8,375,078